

## 公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アロ此花		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日	~	2025年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日	~	2025年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いフロアを活かし、こども同士が十分な距離を保ちつつ落ち着いて活動できる環境が整っています。活動スペースに余裕があることで、個別対応と集団活動の両立が可能な点が強みです。	毎日の送迎時や連絡帳を通じて家庭との連携を図り、こどもの小さな変化も共有できるよう心がけています。ご家庭と共にこどもを見守る姿勢を大切にしています。	今後は保護者支援にも力を入れ、ペアレントトレーニングや相談の場の設置などを検討し、家庭との信頼関係をさらに深める取り組みを進めています。
2	高学年のこどもが多く在籍しており、将来を見据えた段階的な支援が自然に日常に組み込まれています。こどもたちの成長に応じた支援の流れが築かれている点が強みです。	活動の固定化を防ぐため、季節ごとの行事やこどもの興味に合わせたプログラムを柔軟に取り入れています。高学年には役割を持たせる場面も工夫しています。	卒業後の進路や生活を意識した外部機関との連携や体験的な活動（買い物練習・公共交通の利用など）を導入し、社会参加を見据えた支援を強化していきます。
3	こどもの自己肯定感を育むためのあたたかい声かけや、成功体験の積み重ねに力を入れており、安心して挑戦できる環境づくりができている点が強みです。	広いフロアを活かし、活動の内容やこどもの特性に応じてスペースを柔軟に使い分けています。静と動のバランスを取りながら、こどもが集中しやすい環境づくりを意識しています。	高学年児童の特性を活かし、地域交流や社会性を育むための役割活動・人との関わりを深めるプログラムを増やし、より自立的な力を育めるよう整備していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動や行事の情報発信については、必要な内容を個別にお伝えしている一方で、より広くわかりやすく共有できる手段の充実が今後の課題です。	日々の支援を優先する中で、情報発信にかける時間や手段が限られており、紙ベース中心の案内に留まっていることも一因と考えています。	通信や行事予定の発信頻度を見直し、掲示やデジタルツールの活用など、保護者が情報を受け取りやすい方法を工夫していきます。
2	保護者同士のつながりや、家庭向けの支援機会については、現時点では十分に設けられておらず、今後の充実が期待される部分です。	保護者のご都合や参加のしやすさを考慮して慎重に検討してきた経緯があり、無理のない範囲での実施を模索している段階です。	希望やニーズを把握した上で、少人数での懇談や情報提供など、気軽に参加できる場を工夫しながら、家庭支援の幅を広げています。
3	こどもたちの社会的な視野を広げる機会として、地域や外部との連携をもう少し取り入れていけると、さらに良い支援につながると感じています。	日々の支援を中心に運営しているため、外部との調整や情報収集にかける時間や機会がやや限られていることが要因と考えています。	地域の行事や他事業所との情報交換など、小さなつながりから始め、こどもたちの経験が広がるような地域連携を段階的に進めています。